

平成 30 年 1 月 吉日

各 位

社会福祉法人 三井記念病院
病理診断科 部長 森 正也

第 33 回公開臨床病理検討会（CPC）のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段 お慶び申し上げます。

下記の通り、第 33 回公開臨床病理検討会を開催致します。皆様の御参加をお待ち申し上げます。

記

【日 時】 平成 30 年 3 月 7 日（水） 19：00～20：00

【会 場】 三井記念病院 外来棟 7 階 講堂

検討症例： 70 代、男性

臨床診断： 左腎癌、両肺転移

既往歴： 狭心症、脂質異常症、前立腺肥大症（高血圧、糖尿病なし）

臨床経過： 2016 年 8 月 検診で胸部異常影を指摘（1 年前は異常なし）。2016 年 10 月、左腎癌疑いで当院紹介。精査の結果、左腎癌・両肺転移の診断。11 月、左腎摘除術施行（clear cell renal cell carcinoma, pT3a）。

2017 年 1 月からステント開始。2 コース目、めまい・腎機能低下でステント休業。2 月、インライタに変更。3 月、血圧上昇しアムロジン 2.5mg 開始。6 月の CT で、肺転移は一部増大するも多くは縮小。8 月、Cre 1.9 に上昇し、インライタ休業。9 月から オブジーボ投与 3 コース施行。その後左頬部皮下腫瘍が出現し、腎細胞癌の転移と診断され オブジーボは中止。11 月の CT で、多発肺転移は増悪。右胸水・心嚢水が出現。11 月から時々、肉眼的血尿が出現。

12 月、食事摂取不良・倦怠感・血尿のため、救急外来を受診。貧血・腎機能低下が進行しており入院。腹部超音波検査で、右尿管が拡張し約 5cm の充実性病変が指摘された。入院後、食事摂取ができるようになり、腎機能も回復傾向にあった。入院第 5 病日、昼に嘔吐あり。その後から再び食事摂取不良。第 6 病日、尿量低下。背部痛あり。第 7 病日、不穏・せん妄・意識レベル低下。第 8 病日、酸素化悪化。心肺停止エピソードあり HCU へ。第 9 病日、死亡した。

臨床上の問題点： 1. 左腎癌術後の状態

検索希望事項 2. 右腎盂尿管移行部の病変は何か？

3. 中枢神経病変の有無

【申込方法】 平成 30 年 3 月 6 日（火）までに、地域連携室へ E-mail または、お電話でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

【連絡先】 三井記念病院 地域医療部 地域連携室
電話：03-3864-7900 FAX：03-3864-7901 Email chkiry@mitsuihosp.or.jp

